

公益社団法人私立大学情報教育協会

平成 29 年度第 2 回情報セキュリティ対策問題研究小委員会議事記録

I. 日 時：平成 30 年 3 月 19 日(月) 14:00 から 16:00

II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局会議室

III. 参加者：柴田担当理事 (Skype)、浜主査、高倉委員、岩本アドバイザ、立道アドバイザ、  
洞田アドバイザ  
(事務局) 井端事務局長、野本 (記)

IV. 検討事項

情報セキュリティポリシーや関連規程作成のビデオオンデマンド化及びセキュリティ対策の支援として立命館作成の情報セキュリティ研修資料について、委員から資料が提出され、以下の意見があった。

(1) 情報セキュリティポリシーや関連規程作成のビデオオンデマンド化について

- ・ 各項目に解説となる説明や考え方を記述する必要があるのではないか。例として、大学の事例を提示してはどうか。
- ・ 最初に、なぜポリシーや規程が必要なのか説明が必要ではないか。
- ・ 冒頭背景・目的の「本学の理念」部分は、私立大学として何を守らねばならないのかの説明を記述しないと、モデル案と考えてもつながりとしてわかりにくい。
- ・ 構成として、手順書などは学生向け、教員・職員向けなどわけてはどうか。用語の定義は最後に付けることではどうか。
- ・ 情報センターなどへ権限を与えていることなど、上位階層の説明を最初に記述する必要があるのではないか、例えば、「教育・研究の環境を提供して、社会に資する大学に対してセキュリティの確保が法律で求められている」など説明が必要。
- ・ 関西大学では、CISO を新設した以外は、現状のルールや組織に当てはめていった取り組みとしたことから、事例として検討することにした。
- ・ 規程関連のまとめは、講習会形式での紹介が良いのではないか。
- ・ ここだけは必要となろう、勘所についてビデオでの紹介としてはどうか。
- ・ まとめとして取り扱う範囲は、対策基準までとして、CSITR 設置規程などまでは検討を進めないこととした。

(2) 情報セキュリティ研修資料について

- ・ 立命館の新職員向け資料の中で、取捨選択を行い、講習会や大学に参考資料として提供できるか検討することにした。

V. 次回のスケジュール

- ・ 次回は、5月8日(火) 14時に開催することにし、規程関係や研修資料の検討を継続することとしている。